

とくしま国際戦略センター



TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION

2023.05

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会



TOPIAの
1年



昨年度は、当協会の活動に対しまして皆様方からのご支援とご協力により、4年ぶりに阿波おどり「あらそわ連」が演舞場に踊り込むことができ、また、外国人による日本語弁論大会の開催や日本語支援ボランティア養成講座、日本語教室の開催、そしてWeb会議システムを利用した講演会などを開催することができました。

今年度も引き続き、在住外国人の方々が暮らしやすい地域づくり、そして環境づくりの推進に向け努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人徳島県国際交流協会 令和5年度事業計画

● 外国人との共生社会実現に資する事業

当協会は、県内国際交流・協力の中心的な役割を担い、県や市町村、民間団体などと連携し、在住外国人が県民とともに安心して生活するための相談や、訪日外国人観光客などを含めた在県外国人への情報提供及びコミュニケーション支援を実施することにより、多文化共生のまちづくりを推進いたします。

また、国際交流・協力及び多文化共生に関する様々な情報を収集・提供することにより、県民への意識啓発を図るとともに、異なる文化や歴史、生活習慣、価値観などを理解し、人権や多様性を尊重する国際感覚豊かな人材を育成いたします。

さらに、とくしま国際戦略センターの運営を柱に、外国人との共生社会実現に資する事業を実施いたします。



防災センタースタディツアー



国際理解支援フォーラム



国際理解支援講師派遣



外国人総合相談窓口

● 阿波おどり交流事業

時期：令和5年8月14日（月）

- ・ 留学生や英語指導助手並びに在住外国人と県民による「あらそわ連」を組織し、伝統的な郷土文化である阿波おどりを共に楽しみ、相互理解を深め、国際親善及び協力を図ります。

● ホームステイ・ホームビジット受入事業

時期：秋頃

場所：徳島県内

- ・ 徳島県在住の留学生を対象に1泊2日のホームステイ、日帰りのホームビジットを実施し、地域での国際交流と相互理解の促進を図ります。受け入れに興味のある方はお問い合わせください。

● とくしま多文化共生推進事業

外国人支援のための各種ボランティアの募集・養成を行い、ボランティア活動を支援することにより、県民の皆様の国際理解と官民協働の国際交流・協力活動を深め、本県の多文化共生を推進いたします。

● ONE WORLD こども支援事業

世界の未来を担う子どもたちに、様々な国の人達との交流体験を通して、国際社会の一員としての自覚を促し、異文化交流や国際理解及び国際協力への意識の醸成を図るための支援事業を行います。

● 外国人による日本語弁論大会

時期：令和5年7月23日（日）

スピーチの部：13:00～16:30

場所：あわぎんホール 5階小ホール

県内在住外国人から参加者を募り、日本語での弁論とともに会場参加者との意見交換や交流会を行い、異文化理解、多文化共生の促進を図ります。

● 地域外国人日本語支援事業

県内各地で日本語教室を開催し、在住外国人のために日本語支援を実施することにより、外国人を社会の一員として受入れ、平時・有事を問わず、安全・快適に暮らすことのできる多文化共生のまちづくりを推進いたします。



日本語弁論大会



日本語教室



ホームビジット



阿波おどり：あらそわ連

● 地域外国人相談支援事業

外国人材受入拡大に伴い、言葉や生活習慣の違いなどからトラブルが生じる恐れがあります。また、地震や豪雨等の自然災害における、外国人の支援体制の脆弱性が全国的に指摘されていることから、地域の外国人からの相談に対する各種支援を行います。

● とくしま国際戦略センター運営事業

（公財）徳島県国際交流協会（TOPIA）を核として、県民、行政、関係機関の力を結集し、海外交流や地域貢献など多様なニーズに対応する「ワンストップ情報受発信拠点」を運営し、県内在住外国人の生活利便性の向上に寄与し、「地域の国際化」を支援いたします。

● 外国青年招致事業

● 情報誌「AWA LIFE」及び「阿波生活」の発行

● 機関誌「とくしま国際戦略センター・TOPIA」の発行

● 外国人観光客案内事業

● 旅券発給補助事業

2023年度外国人による徳島県日本語弁論大会

今年度も日本語弁論大会を開催いたします。徳島県で頑張っている在住外国人の方たちの日頃の想いや考えを聴きにぜひご来場ください！

【日時】2023年7月23日（日） 13:00～16:30

【場所】あわぎんホール 5階小ホール



この3月に2名の方がTOPIAでの任期を終えられました。在任中は徳島県の多文化共生推進などに努めていただきました。これからの益々のご活躍を祈念しております！退職される方の挨拶とともに、新しく着任いたしました後任者の方たちのご紹介をいたします。

退職挨拶

前中国語多言語窓口相談員
 劉 青

5年前『996』の上海から日本に来て徳島に住み始め、朝コーヒーを飲みながら緑の庭園に踊る白や黄色の蝶を眺めるというような…私の生活リズムは急に変まりました。

徳島を知るのにトピアで働いたことがとても役に立ちました。トピアでの仕事は、仕事、留学、旅行などで徳島に来る外国人のお手伝いをする事です。そのことで私の徳島への理解が深まりました。そして、日本語への理解も深まりました。

以前、私が中国で日本語を話していたときは、中国語を日本語に直訳するだけでした。つまり、中国の考えと習慣で日本語を使って表現をしていました。しかし、徳島で、日本人特有の考えや、表現は奥深いものだと感じました。時々失敗をしましたが、勉強にもなりました。

徳島に住み慣れたと感じた瞬間は、阿波弁を聞き取れた時だけでなく、地震で大きく揺れても目が覚めない時も……（震度4以上の地震がないと基本的に起きることができません）。

徳島に来てから2年目に、春から徳島の降水量が減った事に気が付きました。毎朝、鮎喰川のそばを通り過ぎると、堤防から溢れそうになった澄んだ水が、だんだんと少なくなっていることに気づきました。環境問題は、徳島だけの問題ではなく、世界全体で解決しなければならない問題であり、国際交流の仕事はより意義深いものと思うようになりました。

TOPIAでは、様々な国からの留学生、ALT、技能実習生……、そして愛のために故郷を離れた人々と出会う事があり、彼らの勇気と愛情にいつも感動しました。彼らの物語を残すために、私は“雁过拔毛”式で、いつも中国語の月刊誌「阿波生活」の投稿を頼んだりしました。ここで改めて感謝いたします。

お別れを言う時がきました。私がこの5年間で出会った人に感謝、一緒に阿波おどりをしたあそわ連の皆さんに感謝、TOPIAの仲間たちにも深く感謝をいたします。



* 「996」とは「朝9時から夜9時まで、週に6日間働く」の意味です。
 * “雁过拔毛.”：目の前を通過する雁の毛まで抜きたくなる。意味はどんな機会も逃さず。

前一般財団法人自治体国際化協会徳島県支部臨時職員
 今井 史枝

徳島県国際交流協会で、働くことが出来てとても楽しかったです。徳島のいいところ（おいしい食べ物・きれいな景色・阿波踊り・阿波弁・人の優しさなど）をたくさん知ることが出来ました。

これからは、県外で暮らすことになるのですが、英語のブラッシュアップを続けて世界中の人々に徳島の良さを伝えられるように、頑張りたいと思います。

すべての人が暮らしやすい多文化共生の社会になるように、自分のできることをしていきたいと感じました。

短い間でしたが、本当にありがとうございました。



TOPIA ニューフェイス

中国語多言語相談員
陳 芳瑜

みなさま、はじめまして、陳芳瑜と申します。4月からTOPIAで働く中国語担当多言語相談員です。主な仕事は、徳島県内に在住外国人の生活、仕事、勉強などの相談、そして徳島県へ訪れる外国人観光客の観光案内をする窓口です。同時に、中国語月刊誌「阿波生活」の企画・編集・発行を担当させていただきます。新しい仕事に就いたばかりで、まだ分からないことが多くて、皆様にお力をお借りしたいと思っています。よろしくお願いいたします。

私は1990年に上海から来日し、大阪の日本語学校で1年半日本語を学びました。その後、京都の大学に留学し、卒業後は大阪で7年働きました。2001年から徳島に住み始め、あっという間に22年が経ち、私にとって徳島は第二の故郷です。

徳島は山と水に囲まれ、空気はきれいで、食べ物は美味しいです。日本には、「住めば都」ということわざがありますが、私も徳島がだんだん好きになりました。最近、米国から徳島に来た中国人観光客のツアーガイドをさせていただく機会がありました。ツアーガイドをしたことがなかったので、最初少し不安がありましたが、ツアー中に徳島への思いが自然に溢れ出して、観光客を魅了し、非常に満足していただき、また徳島に来ると言われました。バスの運転手に「陳さんは徳島愛で溢れている」とからかわれました。この経験のおかげで、徳島を訪れる外国人観光客を案内する自信ができました。

日本に長く住み、色々なことを経験しているので、日本で暮らすための必要な知識はある程度身につつき、徳島の風習や習慣についても理解をしています。相談することで、徳島に住む外国人が安心して徳島で暮らせるようになれば嬉しいです。それと同時に、徳島を訪れる外国人観光客に徳島を好きになっていただき、徳島観光の発展につなげてほしいと願っています。微力ながら徳島の多様な人を受け入れる多文化共生社会と経済活性化の繁栄に貢献できれば幸いです。



一般財団法人自治体国際化協会徳島県支部臨時職員
校條 亜希子

みなさま、はじめまして。

4月から勤めることになりました、校條亜希子と申します。TOPIAに勤務してまだ数日ですが、明るく暖かい雰囲気居心地のよさを感じております。

私は昨年からは短歌を始めました。短歌とは日本古来の短い詩のようなものです。あと休日には、四国八十八ヶ所巡りをするのを楽しみにしています。徳島の山のお寺は石の階段をゆっくり登っていくと、振り返った景色がとてもきれいなことがよくあります。その時は、こころが豊かになったような気持ちになります。もっと短歌が上達したら、その時の気持ちを込めた短歌が詠めるようになりたいと思っています。

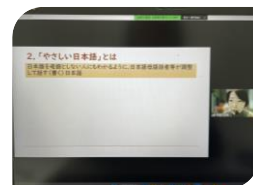
日本中の四十七都道府県の中で徳島を選んで、TOPIAを訪れてくる方たちの活動に、すこしでもお役に立てることができると幸いです。

どうぞ、よろしくお願い致します。



「やさしい日本語研修」

徳島県には、約80か国・地域からの外国人が在住しており、その数は令和4年末現在7,009人に達しています。その国籍も多様化する中で、在住外国人に情報を伝えたいときに、やさしい日本語を活用することが有効です。そこで、昨年度の専門ボランティアスキルアップ研修では、2023年2月13日に鳥取大学 教育支援・国際交流推進機構・国際交流センター准教授の御館久里恵氏をお迎えし、「やさしい日本語」について学びました。生活のための日本語に関する調査によると、6割以上の在住外国人は「日常生活に困らない」という調査結果もあり、やさしい日本語を使うことで、外国人とのコミュニケーションがスムーズになり、より多くの人々に情報を届けることができるようになることと期待されています。受講者たちは、相手に寄り添う姿勢や配慮の必要性についても学びました。アンケートでは、「やさしい日本語を話そうと努力することは、自分の言葉を振り返り、相手への思いやりをもって、聞き方、話し方を磨くことだと思いました」という感想をいただきました。受講者の方たちが、この研修での学びを外国人支援等に活かしていただければ幸いです。



阿波市で「地域外国人との交流会」を開催しました。

2023年2月26日、阿波市阿波林公民館で「多文化共生について阿波市で考えよう ～地域外国人との交流会～」が開催されました。参加者は小学生・中学生・高校生・地域の大人15名、外国人17名（インドネシア人13人、ベトナム人2名、南アフリカ人1名、アメリカ人1名）、日本語の先生9名、運営スタッフなどの計50名弱でした。自己紹介ゲームを行った後、外国人発表者が出身国の紹介や日本との違いを日本語で紹介しました。その後、小グループに分かれ、外国人発表者への質問や阿波市についての話し合いが行われました。交流会後、参加者は阿波市のバディ（仲間）となり、日頃から顔の見える関係を築くことを目指すことになりました。参加者からは、「普段、日本語を話すのは会社の決まった人とだけ。今日はたくさんの人と話ができてうれしかった」「自分の国のことを知ってくれてうれしい」といった感想が聞かれました。TOPIAでは、地域の外国人と日本人が交流を深めるための事業を応援しているため、今後も交流事業が活発に行われることが期待されます。



地域日本語支援ボランティア養成講座 in つるぎ

皆様の地域に住んでいる
外国人住民の皆さんの日本語支援をしてみませんか？

美馬郡つるぎ町で5月13日(土)から7回講座で開催いたします。

【日 時】 毎週土曜日10:00～16:00(12:00～13:00各自で昼食)

【講 座】 5月13日、20日、
6月10日、17日、7月1日、8日

【実地研修】 6月25日(日)※阿波市で実施いたします

詳細はTOPIAホームページをご覧ください



JICA徳島デスクのページ

JICA（独立行政法人 国際協力機構）は、日本のODA（政府開発援助）の実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。「信頼で 世界をつなぐ(Leading the world with trust)」というビジョンを掲げ、多様な援助手法を組み合わせ、最適な解決策を提供することで、開発途上国が抱える課題解決を支援していきます。

JICA徳島デスク 服部です。よろしくお願いします！

2023年4月1日に徳島JICA推進員として着任いたしました 服部あいと申します。
私は、JICA海外協力隊で2022年から1年2カ月モルディブ共和国で体育隊員として活動していました。派遣先には、日本人は一人。現地の方々と共に過ごす中で現地の方の温かさや面白さを沢山知る機会がありとても貴重な経験になりました！コロナ感染拡大を受け任期中での帰国になりましたが今でも現地の方との縁が続いております。
「英語も全くできなく国際協力には縁もゆかりもなかった」私があることをきっかけにJICA海外協力隊に参加し今回推進員として私の大好きな徳島県と開発途上国をつなぐ国際協力事業の中で活動できることをとても嬉しく思うと同時に、とても驚いております。
「きっかけはいつ、どこで、何があるかわからない」と感じました！これから推進員として徳島県の皆様と楽しいイベントを企画し、イベントを通し徳島の皆様の何かの発見のきっかけになれば嬉しいです。また、徳島県在住の外国人の方との国際交流イベントも開催したいと考えております。

徳島県国際交流協会にいますのでお気軽にお越しください！
お話ししましょう！



◆JICA海外協力隊事業 ～2023年春募集（長期）が始まります～

開発途上国からの要請（ニーズ）に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考・訓練を経て派遣します。帰国後もグローバル人材としての活躍が期待されています。

○ 2023年春募集（長期）募集期間

2023年5月19日（金）～ 7月3日（月）
日本時間 正午締切

○ 県内募集説明会

2023年6月11日（日）10時～16時 イオンモール徳島 2F・北側エスカレーター付近でJICA事業紹介や協力隊体験談、個別相談等を行います。
お気軽にお立ち寄りください。

いつか世界を変える力になる。

【お問い合わせ・資料請求】

JICA海外協力隊募集事務局
TEL：045-410-8922

JICA海外協力隊

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>



◆JICA中国・四国 主催：2023年度 教師海外研修（ナミビア）～参加者募集中～

開発教育（国際教育）に取り組んでいる教員の方や教育関係者の方々を対象に、開発途上国を訪問し国際協力活動の現場を視察していただく研修プログラムです。2023年度の研修国はナミビア共和国です。アフリカ南部に位置するこの国で、開発途上国の取り巻く現状や課題について一緒に考えましょう！

○研修日程

6月24日・25日 事前研修
8月7日～8月17日 海外研修
9月2日・3日 事後研修
1月27日・28日 報告会

研修内容や応募方法についての詳細は、JICA四国HPをご覧ください。

【お問い合わせ先】

JICA四国 開発教育支援事業担当
電話番号：087-821-8824
メール：Yamashina.Emi2@jica.go.jp

募集締切：2023年5月19日（水）まで

JICA四国 教師海外研修

<https://www.jica.go.jp/shikoku/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/index.html>

JICA徳島デスクでは、いつでも皆さまからのお問い合わせをお待ちしております。

デスク：徳島県国際交流協会（TOPIA）内／徳島県国際協力推進員 服部

TEL：088-656-3303 Email：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

JICA四国HP：<https://www.jica.go.jp/shikoku/index.html>

「とくしま外国人支援ボランティア会員」

＊募 集 中＊

徳島には約80か国、約7,000人の外国人の方が住んでおり、2019年4月からの「外国人材の受け入れ拡大」と、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、今後ますますその数は増えていくことが予想されます。彼らが、この徳島で国籍などに関係なく生き生きと生活することができるよう、ボランティアになって支援していただきながら一緒に国際理解や多文化共生を推進していきませんか？

詳しくはとくしま国際戦略センターホームページの「ボランティア募集」をご覧ください。

URL <https://volunteer.topia.ne.jp/recruit/page01.html>

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報を優先して受けることができ、賛助団体は会議室の予約を3か月前から申し込むことができます。詳細は当協会まで。資料をお送り致します。

年会費	個人会員	一口	3,000円/年度
	団体会員	一口	10,000円/年度

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

人とふれあい 人とつながり

多文化理解&多文化共生！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流活動などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。リモート講義についても御相談ください。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として日本語で母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。

徳島県外国人総合相談窓口



徳島県で生活する外国人のみなさんが、暮らしやすい地域社会を目指し、外国人総合相談窓口を開設しています。当協会では英語、中国語、そしてベトナム語のほか、たくさんの言語で対応ができますので、仕事、医療、子育てなど生活でお困りのことがございましたら、当協会に来所いただくか、お電話いただければ対応させていただきます。

開 所 時 間：10：00～18：00（年末年始を除く）

場 所：とくしま国際戦略センター

（公益財団法人徳島県国際交流協会）

多言語対応：

（1）多言語（英語・中国語・ベトナム語）相談員の配置

（2）電話通訳システムの導入

（通訳事業者、行政機関も交えて4者間で相談できる）

【対応言語】21言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤インドネシア語 ⑥タイ語 ⑦マレー語
- ⑧タガログ語 ⑨ネパール語 ⑩ミャンマー語
- ⑪クメール語 ⑫モンゴル語 ⑬ポルトガル語
- ⑭スペイン語 ⑮フランス語 ⑯ドイツ語
- ⑰イタリア語 ⑱ロシア語 ⑲シンハラ語
- ⑳ベンガル語 ㉑ヒンディー語

（3）映像通訳システムの導入

（相談者・相談員と通訳者との対面相談に対応）

【対応言語】8言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤タイ語 ⑥ポルトガル語 ⑦スペイン語
- ⑧ロシア語

（4）対面式通訳機（ポケット）の導入（74か国語）

（5）多言語翻訳アプリ（ボイストラ）の導入

相談専用TEL：088-656-3312、088-656-3313

相 談 料：無料（ただし、電話代は自己負担となります）

問い合わせ：公益財団法人徳島県国際交流協会
〒770-0831

徳島市寺島本町西1-61

クレメントプラザ6F

開所時間：月曜日～日曜日 10：00～18：00

閉所日：年末年始

TEL：088-656-3303 FAX：088-652-0616

URL：<http://www.topia.ne.jp>